

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 花畑北 中学校 校長 浅香 英典

1 学校教育目標

- 深く考え、自ら学ぶ人
- 自他を尊重する心豊かな人
- 心身ともにたくましい人

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①学校の図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ②学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学び、表現できる生徒を育てる。
- ③読書に親しみ、読書習慣を身に付けさせる。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数	8206冊（蔵書基準冊数 5440冊）／蔵書率 150%（前年度末 130%）								
	② 新規購入図書	294冊／廃棄図書 0冊／増減冊数 294冊								
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6	3.4	7.0	9.0	7.1	4.1	2.0	10.0	4.8	50.0
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間	12：30～17：00								
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	17冊（前々年度末： 11.5冊）								
	③ 学校図書館利用率	2731%（前々年度末： 2471%）								

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数	8228冊（蔵書基準冊数 5440冊）／蔵書率 151%								
	② 新規購入図書	322冊／廃棄図書 300冊／増減冊数 22冊								
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.7	3.5	7.4	8.5	7.4	4.7	1.9	9.8	4.8	49.3
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間	11：00～16：45（前年度からの変更 あり ・なし）								
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数	18冊（前年度末： 17冊）								
	③ 学校図書館利用率	2708%（前年度末： 2731%）								

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ①読書週間の定着を図るとともに、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書を活用した調べる学習を通して、問題発見・解決能力の育成を図る。 ③日本十進分類表の意味を教え、図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。
------	---

今年度の成果目標	達成基準
<ul style="list-style-type: none"> ①休み時間や放課後の時間など、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ②図書館の本や新聞などを活用しながら調べる学習を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館の決まりや仕組みを知り、的確に図書を探せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①第1学年の生徒一人当たりの年間平均貸出冊数前年度比10%増 ②学年生徒の調べる学習コンクール参加率50%以上 ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%

目標達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ①第1学年の生徒一人当たりの年間平均貸出数は前年度と比べて4%増加にとどまった。 ②学年生徒の調べる学習コンクールの参加率は65%を達成した。 ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率は100%（欠席者を除く）を達成した。

第2学年	①図書選択の幅を広げようとする意欲を育てる。 ②課題解決のために学校図書やICT機器を使い分けることによって、情報を取捨選択する能力を身に付ける。 ③学校図書館のより良い運営について考えることにより、規範意識を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間など、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ②課題解決のために、本や新聞、ICT機器の情報を使い分け、探求することができる。 ③学校図書館の分類方法等を理解し、適切な本の選択をすることができる。	①第2学年の生徒一人当たりの年間貸出冊数前年度比5%増。 ②学年生徒の調べる学習コンクール参加率60%以上。 ③課題解決学習の授業を年10回以上。
目標達成状況	
①第2学年の生徒一人当たりの年間貸出冊数前年度比は0.3%増加にとどまった。 ②学年生徒の調べる国語コンクール参加率90%以上を達成した。 ③課題解決学習の授業を年10回以上達成した。	
第3学年	①読書を通して、様々な考え方に触れ、考えを深める意欲を育てる。 ②学校図書やICT機器を活用した課題解決学習を通して、言語能力の育成を図る。 ③学校図書館の運営に主体的に参加し、社会性を養う。
今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間など、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ②課題解決のために、本や新聞、ICT機器の情報を使い分け、探求したことを発表できる。 ③日本十進分類法を理解し、新着図書の分類をスムーズに行うことができる。	①第3学年の生徒一人当たりの年間貸出平均冊数前年度比5%増。 ②学年生徒の調べる学習コンクール参加率70%以上。 ③課題解決学習の授業を年10回以上。
目標達成状況	
①第3学年の生徒一人当たりの年間貸出平均冊数は前年度より0.1%減少した。 ②学年生徒の調べる学習コンクールへは参加しなかった。 ③課題解決学習の授業を年10回以上達成した。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①文学の蔵書が多い傾向があるので、技術、産業の蔵書を増やしていく。 ②昨年度に引き続き、職員室前の移動図書館を展開していく。	①今年度は技術、産業などに関する書籍を積極的に増やすことができた。 ②昨年度に引き続き、職員室前の移動図書館を展開することができ、本を手にする生徒が増えた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションを、支援員と連携・協働して取り組む。 ②調べ学習の資料などについて積極的に支援員へ相談や情報交換を行う。 ③読み聞かせ教室の実施に向けて支援員と相談、情報交換を行う。	①学校図書オリエンテーションを支援員と連携して取り組むことができた。 ②調べ学習の資料などについて支援員と相談し、図書の紹介、展示などに活かすことができた。 ③今年度は読み聞かせを実施しなかった。
【その他】 ①年度末の貸し出し図書返却率が100%となるよう取り組む。	①定期的な呼びかけを行ったが、年度末に返却されない本があった。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ① 放課後、生徒の自主学習の場所としても利用されており、広範囲に利用してもらうことができた。
- ②今年度は、授業で複数回利用することができた。
- ③ 場所が校舎の隅にあることで利用しにくい環境にあるので、職員室前に移動図書館を設置することで本に触れる機会が増えた。
- ④ 国語以外の教科での利用を増やし、図書委員を中心とした取り組みを増やすことで図書室に行くきっかけを作っていきたい。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ① 「本の福袋」の取り組みはおもしろかった。
- ② 本のポップの展示は生徒も興味深く見ていた。